

方向性1:雇用・しごとをつくる

【戦略1】

地域の産業集積としての競争力向上

- (1)大企業の地方拠点の機能強化、地方での採用増、地方への人の流れの促進
- (2) 海外企業の地方への投資促進
- (3)地域の中核企業を引き上げ、産業の裾野を拡大

<目標>

中堅・中小企業の付加価値額を大企業を上回るまでに押し上げる。**年3%以上の成長**を確保。

【戦略2】

将来の中核企業となるベンチャーの地方での育成、大企業の地方企業との取引拡大やスピノフの活用

<目標>

2025年までにベンチャー企業の付加価値額が**全体の15%**に到達。

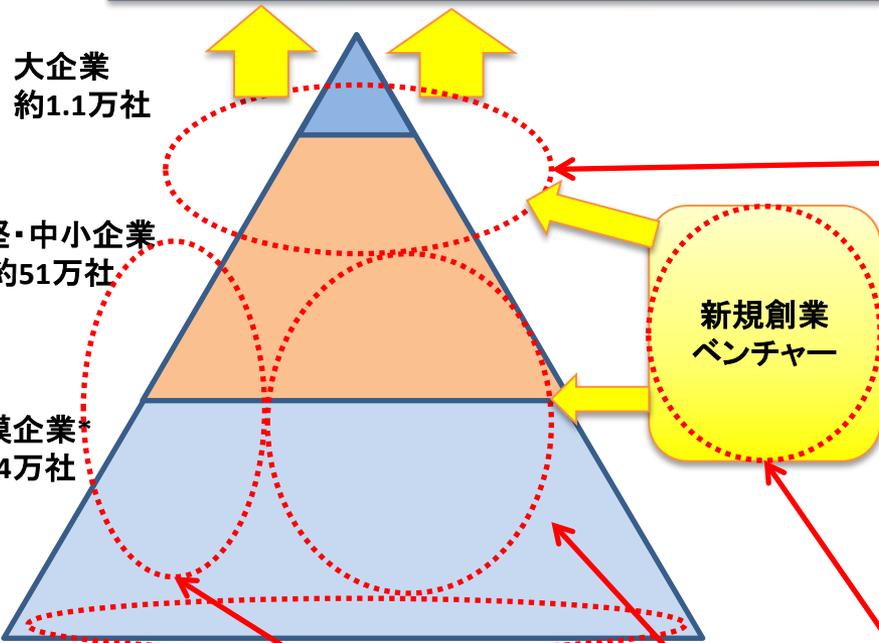
【戦略3】

労働力不足と地域経済の7割を占めるサービス業の生産性向上への対応（ロボット・ITや女性・高齢者の活用）

<目標>

数は減少するものの、小規模企業の**生産性を年率2%向上**させる。

大企業の地域経済への貢献、地方企業との連携強化、生産性向上に向けた技術開発



大企業
約1.1万社

中堅・中小企業
約51万社

小規模企業*
約334万社

新規創業
ベンチャー

*中小企業のうち常用雇用者20人以下の企業(卸・小売、飲食、サービスは5人以下)

方向性2:まちの機能を維持・活性化する

【戦略5】

人口減少下での

- (1)地域の安全・安心を支える基盤的な生活サービスの確保
- (2)持続可能な地域経済圏の再構築
 - ・地域経済を支える中核企業の分布分析
 - ・医療・介護等やインフラの選択的集中
 - ・人口規模に応じたコンパクトシティ化

【戦略4】

地域に根ざす地域資源を活用した地域全体のブランド化と付加価値向上、域外展開と域内消費の拡大